

# I アメリカ・インディアン研究邦語文献：部門別

## 1. 歴 史

### イ. 著 書

1. 石原 保 徳 『インディアスの発見 — ラス・カサスを読む』（田畑書店 1980）
2. 上田 伝 明 『インディアン憲法崩壊史研究』（日本評論社, 1974）
3. 上田 伝 明 『インディアンと合衆国憲法』（法律文化社, 1982）
4. 加藤 恭 子 『消された大酋長』（朝日新聞社, 1974）
5. 猿 谷 要 『新大陸に生きる』（河出書房新社, 1975）
6. 猿 谷 要 『西部開拓史』（岩波書店, 1982）
7. 清 水 知 久 『アメリカ帝国』（亜紀書房, 1968）
8. 清 水 知 久 『アメリカ・インディアン』（中央公論社, 1971）
9. 清 水 知 久・高橋章・富田虎男 『アメリカ史研究入門』（山川出版社, 1974）
10. 清 水 知 久 『近代のアメリカ大陸』（講談社, 1984）
11. 清 水 知 久 『米国先住民の歴史 — インディアンと呼ばれた人びとの苦難・抵抗・希望』（明石書店, 1986）
12. 富田 虎 男 『アメリカ・インディアンの歴史』（雄山閣, 1982）
13. 鶴 谷 壽 『アメリカ西部開拓博物誌』（PMC 出版, 1987）
14. 中 屋 健 一 『アメリカ西部開拓史』（筑摩書房, 1963）
15. 藤 永 茂 『アメリカ・インディアン悲史』（朝日新聞社, 1972）
16. 松島駿二郎 『ショショニ族の魂 — もうひとつのアメリカ開拓史』（筑摩書房, 1985）

### ロ. 訳 書

1. ウォシュバーン, W. E. 富田虎男訳 『アメリカ・インディアン — その文化と歴史』（南雲堂, 1977）
2. コスター, J. 清水知久訳 『この大地, わが大地』（三一書房, 1977）
3. ジン, ハワード 富田虎男, 平野孝, 油井大三郎訳 『民衆のアメリカ史』 3 巻（TBSブリタニカ, 1982）
4. ヌジェ, ハイニルネ, ビエール・ジューベル 福井芳男・木村尚三郎監訳 『アメリカ大陸の先住民』（カラーイラスト世界の生活史 9）

(東京書籍, 1985)

5. ハートレー, W. 鈴木主税訳 『征服されざる人びと』(現代史出版会, 1975)
6. ハンケ, D. H. 佐々木昭夫訳 『アリストテレスとアメリカ・インディアン』(岩波書店, 1974)
7. ハンケ, ルイス 染田秀藤訳 『スペインの新大陸征服』(平凡社, 1979)
8. 平野孝編訳 『アメリカ・インディアン』(研究社, 1977)
9. ブラウン, D. 鈴木主税訳 『わが魂を聖地に埋めよ』上, 下(草思社, 1972)
10. ヘーガン, W. T. 西村, 野田, 島川訳 『アメリカ・インディアン史』(北大国書刊行会, 1983)
11. ホロウェイ, D. 池央耿訳 『ルイスとクラーク』(草思社, 1977)
12. ミラー, D. H. 高橋泰郎訳 『カスター将軍の最後』(早川書房, 1968)
13. ラス=カサス 染田秀藤訳 『インディアスの破壊についての簡潔な報告』(岩波書店, 1976)
14. ラス=カサス 長南, 増田訳 『インディアス史』(岩波書店, 1983)

#### ハ. 論文など

1. 上田 伝明 南北戦争とインディアン 静岡大『法経研究』19-1 (1970)
2. 上田 伝明 インディアン憲法の崩壊 静岡大『法経研究』19-2 (1970)
3. 上田 伝明 カイオワ族における身分制度の崩壊 名古屋大『法政論集』50 (1971)
4. 上田 伝明 オクラホマ州憲法成立の意義 静岡大『法経研究』20-1 (1971)
5. 上田 伝明 マニフェスト・デスティニと合衆国憲法序説 名古屋大『法政論集』109 (1986)
6. 梅田 久枝 アメリカ・インディアン宗教自由法 『外国の立法』18-2 (1979)
7. 岡田 章雄 ヴァージニアの探検と土人の小舟 『日本歴史』27 (1948)
8. 岡田 泰男 アメリカ西漸運動の社会史的考察 『社会経済史学』41-4 (1976)

9. 折原 卓美 初期連邦インディアン政策下における土地投機 『社会経済史学』51-5（1985）
10. 小野 修 ネブラスカ覚え書 同志社大『人文科学』9（1978）
11. 小野 修 ネブラスカのインディアン 『主流』40（1979）
12. 久保田泰夫 ロジャー・ウィリアムズとロードアイランド植民地 山梨大『教育学部研究紀要』1（1979）
13. 小山 起功 「赤い白人」と黒い奴隷たち 専修大『人文科学研究所月報』103, 104（1985）
14. 佐々木伝太郎 カスター隊全滅 『拓植大学論集』46, 47（1965）
15. 沢田 俊明 書評：The European and the Indian：Essays in the Ethnohistory of Colonial America, by James Axtell 『同志社アメリカ研究』20（1984）
16. 島川 雅史 ジェファソンとインディアン問題 『アメリカ研究』12（1978）
17. 白井 洋子 ペンシルヴェニアのインディアン・トレーダー研究について 『アメリカ史研究』4（1981）
18. 竹中 豊 カナダ先住民観の変遷 — その虚像と実像 『比較法政』22（1983）
19. 富田 虎男 黎明期のアメリカ 『歴史教育』12-11（1964）
20. 富田 虎男 連合政府のインディアン政策 『アメリカ社会におけるコンフォーミティの形成』（研究報告）（1968）
21. 富田 虎男 インディアンの歴史と文化 『合衆国の発展』世界文化社（1969）
22. 富田 虎男 アンドルー・ジャクソン 『アメリカ研究』11（1977）
23. 富田 虎男 第二次大戦下のマイノリティ・グループ — インディアンの場合 『第二次大戦下のアメリカ社会』（東大アメリカ研究資料センター, 1983）
24. 富田 虎男 ポカホンタス 『人物アメリカ史』1自由の新天地（集英社 1984）
25. 富田 虎男 インディアン戦争 猿谷要編『アメリカの戦争』（講談社, 1985）
26. 名古 忠行 ジェファソンの寛容思想と少数民族問題 京都精華短大『木野評論』3（1972）
27. 西出 敬一 アメリカ合衆国史と先住民族 札幌学院大学人文学部編『北海道と少数民族』（同人文学会刊, 1986）

28. 藤本 博 合衆国の領土膨張とインディアン移住政策の形成 札幌学院大『人文学部紀要』36（1984）
29. 松隅 清 アメリカ・インディアンと国際法の起源 『八幡大学論集』28-2. 3（1978）
30. 三崎 敬之 ビークォット戦争 『愛媛大学紀要』人文1-4（1953）

## 2. 文 学

### イ. 著 書

1. 金関 寿夫 『アメリカ・インディアンの詩』（中公新書，1977）
2. 刈田 元司 『ポカホンタスとマシーセン』（山口書店，1986）
3. 菊池 敬一 『鷲の羽衣の女』（徳間書店，1983）
4. 内藤 誠 『インディアン日本をめざす』（小峰書店，1977）

### ロ. 訳 書

1. ウェスト，J. 中村妙子訳 『フォール・クリークの虐殺』（評論社，1976）
2. オーデル，S. 犬飼和雄訳 『ナバホの歌』（岩波書店，1974）
3. シルコウ，L. M. 荒このみ訳 『悲しきインディアン』（晶文社，1982）
4. フィドラー，L. A. 渥美昭夫，酒井雅之訳 『消え行くアメリカ人の帰還』（新潮社，1968）
5. ママディ，N. S. 滝川秀子訳 『レイニ・マウンテンへの道』（晶文社，1976）

### ハ. 論文など

1. 荒 このみ 自い人《ハイアワサ》『英語英米文学』20（1980）
2. 荒 このみ 《モヒカン族の最後》の《Cora》の運命 『英語英米文学』22（1982）
3. 金関 寿夫 口誦詩としてのアメリカ・インディアンをめぐって『現代詩手帖』21-6（1978）
4. 刈田 元司 アメリカ・インディアン文学について 大東文化大『英米文学論叢』10（1979）
5. 倉持 三郎 D. H. Lawrenceとアメリカ文学 『東京学芸大学紀要』人文科学32（1981）

6. 滝野 哲郎 楽園とインディアン — 18世紀初頭のアメリカ南部 『同志社アメリカ研究』22 (1986)
7. 野田 研一 象徴あるいは「願望充足」としてのインディアン像をめぐる試論 札幌学院大『人文学部紀要』36 (1984)
8. 渡辺 昇 E. Pauline Johnson論 『阪南論集』13-2 (1977)

### 3. 文化人類学，民族学，考古学

#### イ．著 書

1. 青木 晴夫 『アメリカ・インディアン』 (講談社, 1979)
2. 石田英一郎 『アメリカ大陸の古代文明』(世界史大系2) (誠文堂新光社, 1958)
3. 石田英一郎編 『アメリカ』(世界美術全集24) (角川書店, 1962)
4. 石田英一郎編 『メキシコ美術』(世界美術大系・別巻2) (講談社, 1964)
5. 石田英一郎 『マヤ文明』 (中央公論社, 1967)
6. 煎本 孝 『カナダ・インディアンの世界から』 (福音書店, 1983)
7. 岡田 宏明 『文化と環境 — エスキモーとインディアン』 (北大図書刊行会, 1979)
8. 狩野 千秋 『マヤとアステカ』 (近藤出版, 1983)
9. 新保 満 『カナダ・インディアン』 (三省堂, 1971)
10. 祖父江孝男編 『民族探訪の旅6 北アメリカ』 (学習研究社, 1979)
11. 原 ひろ子 『極北のインディアン』 (玉川大学出版部, 1979)
12. 増田 義郎 『古代アステカ王国』 (中央公論社, 1963)
13. 増田 義郎 『太陽と月の神殿』(沈黙の世界史12) (新潮社, 1969)

#### ロ．訳 書

1. アコスタ, J. 増田義郎訳 『新大陸自然文化史』上・下 (岩波書店, 1966)
2. ウォーターズ, F. 上村哲彦訳 『仮面の神がみ』上・下 (科学情報社, 1974, 75)
3. クラーク, E. 編 山下欣一訳 『アメリカ・インディアンの神話と伝説』 (岩崎美術社, 1972)
4. クローバー, T. 行方昭夫訳 『イシ』 (岩波書店, 1970)
5. コウ, M. 寺田和夫訳 『マヤ』 (学生社, 1975)

6. コウ, M. 寺田和夫訳 『メキシコ』 (学生社, 1975)
7. サンダース, W. T., マリーノ, J. 大貫良夫訳 『新大陸の先史学』  
(鹿島出版, 1972)
8. スーステル, J. 狩野千秋訳 『アステカ文明』(クセジュ) (白水社  
1971)
9. スチュアート, ヒラリー, 木村英明, 木村アヤ子訳 『海と川のインディ  
アン — 自然とわざとくらし』 (雄山閣, 1987)
10. スティールラン, A. 佐藤功訳 『古代メキシコ』(世界の建築) (美  
術出版社, 1968)
11. スティールラン, A. 増田・黒部訳 『マヤ』(世界の建築) (美術出  
版社, 1968)
12. ソリータ, A., ランダ, D. 増田義郎訳 『メソアメリカの古代文明』  
(岩波書店, 1981)
13. ツェラム, C. W. 寺田和夫他訳 『最初のアメリカ人』 (新潮社,  
1974)
14. ブシュネル, G. H. S., 増田義郎訳 『最初のアメリカ人』 (創元社  
1971)
15. メガーズ, B. J. 寺田和夫訳 『アメリカの先史文化』 (学生社,  
1977)
16. モルガン(モーガン), L. H. 青山秀夫訳 『古代社会』上・下  
(岩波書店, 1961)
17. ラディン, P. ほか 皆河他訳 『トリックスター』 (晶文社, 1974)
18. レナン=ボルティエヤ, ミゲル. 山崎真次訳 『古代のメキシコ人』  
(早稲田大学出版部, 1985)
19. レーマン, A. 川田順造訳 『アメリカ大陸の古代文明』(クセジュ)  
(白水社, 1959)

#### ハ. 論文など

1. 青柳清孝 新大陸とインディアン 『総合研究アメリカ』I (研究社  
1976)
2. 青柳清孝 部族のアイデンティティ — インディアン 綾部恒雄編『ア  
メリカ民族文化の研究』 (弘文堂, 1982)
3. 荒竹清光 地名からみるアメリカ・インディアンの足跡 『地理』30-1  
(1985)
4. 稲村哲也 インディオ社会における聖者の祭とカルゴ・システム —

- グアテマラとペルーの事例から 『ラテン・アメリカ研究』  
10 ( 1980 )
5. 猪 又 徹 ラカンドン族のジャングル — 古代マヤ文明の故地にすむ人  
びと 『季刊民族学』6-3 ( 1982 )
6. 煎 本 孝 チペワイアンの特ナカイ狩猟活動系 — 生態人類学的視点か  
ら 『国立民族学博物館研究報告』5-3 ( 1980 )
7. 煎 本 孝 トナカイがくるとき — カナダ・インディアン、冬の序曲  
『季刊民族学』5-2 ( 1981 )
8. 岡 千 曲 アザラシ、カリブー、サケ — 中央エスキモーに於ける世界  
構成と動物をめぐるタブー 『相模女子大学紀要』42  
( 1978 )
9. 岡 千 曲 北アラスカにおける海の民と陸の民 — その現実と神話  
『政経論叢』50-5.6 ( 1982 )
10. 岡田 宏 明 アメリカ・インディアン 『講座アメリカの文化』2 南雲堂  
( 1969 )
11. 岡田 宏 明 アメリカ・インディアン — 接触による変化 『現代アメリ  
論』東大出版会 ( 1971 )
12. 岡田 宏 明 アラスカ・エスキモーの考古学的調査 『学術月報』28-  
9 ( 1975 )
13. 岡田 宏 明 西南アラスカ・エスキモーの集落 — ネルソン島の事例を中  
心に 『北方文化研究』9 ( 1976 )
14. 岡田 宏 明 アラスカにおけるトナカイ飼育 『北方文化研究』10  
( 1976 )
15. 落 合 一 泰 マヤ高地コミュニティの社会経済的構造とその変容 『ラテ  
ン・アメリカ研究』10 ( 1980 )
16. 葛 西 崇 マヤ文明の宗教観と儀式の特異性 『四国学院大学論集』51  
( 1982 )
17. 木村喜久彌 煙草に関するアメリカ・インディアンの特話伝説と信仰習俗  
『民族学研究』15-1 ( 1950 )
18. 木村喜久彌 アメリカ原住民民族の人類文明への貢献 『民族学研究』16  
- 2 ( 1951 )
19. 北原 順 男 Flathead, Blackfoot, Dakota 各インディアンの特民族  
音楽における文化変容と残存・融合 『民族学研究』27-  
3 ( 1962 )
20. 黒田 悦 子 メキシコ、オアハカ州、ミヘ族の記録者として ( 資料と通信 )

- 『民族学研究』40-1 (1975)
21. 黒田悦子      メキシコ(南部)のインディオ村落の経済生活 — ミヘ族の村トラウィトルテベックの事例1,2(現地報告) 『アジア経済』17-3, 4 (1976)
22. 黒田悦子      危機に立つ民族性と民族文化 — ニューメキシコ州タオスのスペイン系アメリカ人(イスパーノ)の葛藤 綾部恒雄編 『アメリカ民族文化の研究 — エスニシティとアイデンティティ』(弘文堂, 1982)
23. 後藤 明      アラスカ周辺における先史漁撈技術の考察 — 釣針の分析を中心に 『考古学雑誌』67-1 (1981)
24. 小林致広      アステカの絵文書 『季刊民族学』2-4 (1978)
25. 新保 満      カナダ・インディアンの同化に対する寄宿学校の貢献とその限界 『民族学研究』32-3 (1967)
26. 須江ひろ子      動物と人間 『海外事情研究所報告』3 (1966)
27. 須江ひろ子      ヘヤー・インディアンの老人たち 『教育と医学』14-5 (1966)
28. スチュアート, H.      伝統エスキモー社会の法と遊びの関係について 『法政大学教養学部紀要』51 (1984)
29. 祖父江孝男      世界の民族2北アメリカ 『文部時報』1213 (1978)
30. 高山智博      民話と祭り 『季刊民族学』6-2 (1982)
31. 谷岡孝子      アメリカ・インディアンの住居跡とその生活について 『大谷女子短大紀要』18 (1975)
32. 所 勇      アメリカ原住民インディアンの一考察 『光華女子短大研究紀要』10-11 (1973)
33. 西川 治      アメリカ・インディアンのSweet Cornについて 『民族学研究』14-2 (1949)
34. ハトッフ, B.      小山修三訳 砂漠の考古学 — アメリカ・インディアンの消えた社会を求めて 『季刊民族学』2-2 (1978)
35. パネ, ラモン      染田秀藤訳 インディオの古代文明に関する報告書 『Hispanicos』9 (1983)
36. 原 ひろ子      カナダにおける少数民族としてのヘヤー・インディアン 拓殖大学 『海外事情』18-7 (1970)
37. 原 ひろ子      性の文化的位置づけと婚姻 『ジュリスト』増刊号(1970)
38. 原 ひろ子      ヘヤー・インディアンの親族構造再考 『民族学研究』35-3 (1970)



39. 久武 哲也 岩絵地図と砂絵地図 『甲南大学紀要』文学編 32 (1978)
40. 久武 哲也 亀と風 - 1 - オジブワ族の地図的世界像 『甲南大学紀要』文学編 47 (1982)
41. ベンネット, J. W. 民族学理論の発達 日本民族学会編『現代アメリカの社会人類学』(1949)
42. 細井 忠俊 よみがえるトーテムポール - ふたつのインディアン村の希望と主張 『季刊民族学』7-1 (1983)
43. 本間 正樹 トウモロコシとナバホ族 『季刊民族学』3-3 (1979)
44. 益子 待也 ボトラッチの神話学 - トリンギット族における死と再生の論理 『民族学研究』47-3 (1982)
45. 三井 嘉明 祭りにあけくれる村むら 『季刊民族学』6-2 (1982)
46. 宮西 照夫 ラカンドン族, マサテコ族における疾病概念ならびに精神疾患の調査 『季刊民族学』
47. 矢田 大雄 Seminole Indian の社会と文化 『社会学論集』38 (1967)
48. 矢田 大雄 文化変容 『日本大学人文科学研究所研究紀要』16 (1974)
49. 矢田 大雄 ナバホ族における女性の立場 『日本大学人文科学研究所研究紀要』20 (1978)
50. 山口 昌男 アメリカ・インディアンの道化の伝統 『道化の民族学』(新潮社, 1975)
51. 山本 紀夫 インディオと植物 - ヤノマモ族とユクナ族の場合 『季刊民族学』1-2 (1977)
52. ラグナ, F. D. スチュアート, H. 訳 アラスカのトリンギット・インディアン民族史 『早稲田大学語学教育研究所紀要』26 (1983)

#### 4. 言語, 教育, 民話, 自伝, 美術

##### イ. 著 書

1. 青木 晴夫 『滅びゆくことばを追って』(三省堂, 1972)
2. 金関 寿夫 『ナヴァホの砂絵 - 詩的アメリカ』(小沢書店, 1980)

##### ロ. 訳 書

1. イーグル, D. C. 神田栄次訳 『ウィンターカウント』(誠文堂新光社, 1983)

2. 小沢俊夫編, 関楠生訳 『世界の民話』24 (ぎょうせい, 1978)
3. コラル, ポール 『人間の音楽の歴史Ⅰ, 民族音楽 第2巻アメリカ:エスキモーとインディアン』(音楽之友社, 1986)
4. ダンダス, A. 池上嘉彦訳 『民話の構造』(大修館, 1980)
5. トムキンス, W., マラリー G., 渡辺義彦訳 『インディアンは手で話す』(径書房, 1986)
6. トムソン, S. 皆河宗一訳 『アメリカ・インディアンの民話』(岩崎美術出版社, 1970)
7. ナイハルト, J. G. 大島良行訳 『終なき夢と闘い』(合同出版社, 1973)
8. ナイハルト, J. G. 弥永健一訳 『ブラック・エルクは語る』(社会思想社, 1977)
9. ハミルトン, C. 編, 和巻耿介訳 『滅びゆくインディアン』(大陸書房, 1969)
10. フォクス, R. 秋山一夫訳 『白い征服者との闘い』(サイマル出版, 1971)
11. ホフシンド, R. 金石教子訳 『アメリカ・インディアンのえもじのえほん』(至光社, 1980)
12. ラディン, P. 滝川秀子訳 『あるインディアンの自伝』(思索社, 1980)
13. ルイス, W., 村上直次郎編, 富田虎男訳 『マクドナルド<<日本回想記>>』(刀水書房, 1979)

#### ハ. 論文など

1. 青木晴夫 生きている民話33 『子どもの館』7-9 (1979)
2. 伊藤義兼 アメリカ英語におけるアメリカ・インディアン語の要素 『金城学院大学論集』10 (1958)
3. 弥永健一 ブラック・エルクの世界 『宝島』50号特集 (1978)
4. 煎本孝 生きている民話56 『子どもの館』9-12 (1981)
5. 金関寿夫 ナヴァホの砂絵 『宝島』50 (1978)
6. 川口博久 米語にみられるアメリカ・インディアン語について 『亜細亜大学教養学部紀要』24 (1981)
7. 小西佑二 ゲレロ州シャリートラ村のナワトル語に関する一考察 『ラテン・アメリカ研究』10 (1980)
8. 小林致広 メヒコのインディヘニスモと言語政策 その1 『神戸大論

- 叢』33-5 (1982)
9. 小林 致 広      メヒコのインディヘニスモと言語政策 その2 『神戸外大論叢』34-1 (1983)
  10. 小林 致 広      メキシコのネオ・インディヘニスモ 『ラテン・アメリカ研究年報』3 (1983)
  11. 小林 致 広      メヒコのインディヘニスモと言語政策 その3 『神戸外大論叢』35-6 (1984)
  12. 小林 致 広      メヒコにおける先住民教育 — ANPIBACの動向を中心に 『神戸外大論叢』36-2 (1985)
  13. とくざわりゅうたん      アメリカ・インディアン絵文字について 『言語生活』186 (1967)
  14. 徳 沢 龍 潭      アメリカ・インディアン語と日本語における音感の比較について 『日大農獣医学部一般教養研究紀要』4 (1969)
  15. 徳 沢 龍 潭      アメリカ・インディアン絵文字について 『日大農獣医学部一般教養研究紀要』5 (1970)
  16. 徳 沢 龍 潭      北米インディアン・オサジ語における鳥獣名の意義について 『日大農獣医学部一般教養研究紀要』6 (1971)
  17. 松 久 玲 子      メキシコにおけるインディヘナス統合教育 江淵, 小林編 『多文化教育の比較研究』九州大学出版会 (1985)
  18. 増 淵 健      ジョン・フォードの罪 『宝島』50号特集 (1978)
  19. 八 杉 佳 徳      マヤ諸語の動詞核の比較研究 『ラテン・アメリカ研究』10 (1980)
  20. 吉 福 逸 郎      インディアンの戦士 『宝島』50号特集 (1978)

## 5. 現状分析, ルポルタージュ, 対談, 写真集

### イ・著 書

1. 青木やよひ      『ホピの国 — 砂漠のインディアンを訪ねて』 (潮出版 1975)
2. 一之宮 久      『帰ってきたナバホ』 (三一書房, 1981)
3. 一之宮 久      『わが聖地を守れ』 (三一書房, 1986)
4. 上田 伝 明      『インディアン請求委員会の研究』 (法律文化社, 1979)
5. 菊 池 東 太      『ヤタヘ — ナバホ・インディアン保留地から』 (佼成出版, 1981)
6. 菊 池 東 太      『ジェロニモ追跡』 (草思社, 1987)

7. 北沢方邦 『ホビの国 — 現代文明批判』 (研究社, 1976)
8. 小林致広 『沈黙を越えて — 中米地域の先住民運動の展開』 (神戸市外国語大学外国学研究所, 1986)
9. 東大北方史研究会 『インディアン生活術入門』 (ロングセラーズ, 1976)
10. 豊浦志朗 『叛アメリカ史』 (ブロンズ社, 1977)
11. 東岡耐 『アメリカ神話の解体』 (現代書館, 1978)
12. 本多勝一 『極限の民族』 (朝日新聞社, 1967)
13. 本多勝一 『アメリカ合州国』 (朝日新聞社, 1970)
14. 宮松宏至 『インディアン居留地で見たこと』 (草思社, 1983)

#### ロ. 訳 書

1. カーティス, E. 金関, 横須賀訳 『北米インディアン悲詩 — E. カーティス写真集』 (アボック社, 1984)
2. ジョラン, ロベール 和田信明訳 『白い平和 — 少数民族絶滅に関する序論』 (現代企画室, 1985)
3. タイム・ライフ編集部編 『大西部物語』 (タイム・ライフ, 1976)
4. ポサス, リカルド 清水透訳 『コーラを聖なる水に変えた人々 — メキシコ・インディオの証言』 (現代企画室, 1984)
5. ロー, ジョアン 石川好訳 『フロンティアの残影 — 日本人松浦の撮った西部』 (平凡社, 1983)

#### ロ. 論文など

1. 阿波弓夫 金持ちニッポンが奪ったインディオの秘色・貝紫, 上・下 『朝日ジャーナル』28-44, 45 (1986)
2. 市雄貴 精霊とともに生きるブラックエルク氏 (インタビュー) 『朝日ジャーナル』23-52 (1981)
3. 宇井純 水俣病とカナダ・インディアン — 住民と住民を結ぶ旅 『展望』200 (1975)
4. 上田伝明 1964年合衆国インディアン請求委員会について 『法社会学』29 (1977)
5. 上田伝明 スー族インディアンと白人の土地奪取 『法学セミナー』308 (1980)
6. 上田伝明 メイン州インディアンによる土地請求事件と合衆国憲法 静岡大 『法経研究』31-1, 2 (1982)

7. 神田 栄次      チーフ・イーグルのこと      『世界』354 (1975)
8. 菊地 育三      ウンデット・ニーの抗議      『部落解放』42 (1973)
9. 北沢 方邦      「ホビ」の予言は的中する      『潮』308 (1984)
10. 小林 致 広      アメリカ大陸の原住民運動 — バルバトス第2宣言をめぐって      『神戸外大論叢』32-5 (1981)
11. 佐藤とよ子      「大地の虐待」への抵抗と「非暴力不服従」貫く長い行列—  
アメリカ・インディアン運動指導者デニス・パンクス会見記  
『朝日ジャーナル』25-13 (1983)
12. 猿 谷    要      インディアンの逆襲      『文芸春秋』51-7 (1973)
13. 新聞 禎子      ニューヨークに生きるアメリカ・インディアン      『汎』2  
PMC 出版 (1986)
14. 杉浦 正章      レッド・パワーの反乱      『世界週報』54-13 (1973)
15. 富田 虎男      レッド・パワー      『原典アメリカ史』第7巻 (岩波書店  
1982)
16. 富田 虎男      アメリカ・インディアンの現状      『歴史と地理』(1985)
17. 豊浦 志朗      スー族の国家と復讐      『現代史手帖』19-12 (1976)
18. 中島 時哉      ニューオーリンズのインディアンと黒人そしてコンゴ広場  
『法政大学教養部紀要』36 (1980)
19. パンクス, D.      奪われた聖地を求めて (インタビュー)      『朝日ジャーナル』15-9 (1973)
20. 穂坂久仁雄      ラッセル, ミーンズ ウンデットニーの教訓 (インタビュー)  
『現代の眼』14-12 (1973)
21. 細井 忠俊      トーテムポールの世界      『みづゑ』887~889 (1979)
22. 町田 成男      フォークナーが描いたチカソー・インディアン      『職業訓練  
大学校紀要』14B (人文・教育編) (1985)
23. 町田 成男      ミシシッピ州のインディアン — チョクトー族とチカソー族  
を中心に      『職業訓練大学校紀要』16B (人文・教育論)  
(1987)
24. 宮崎 直一      アメリカ・インディアン Navajo 族についての観察      『岐阜  
大学教育学部研究報告』(人文) 15 (1967)
25. 宮田    雪      ウンデッド・ニーに還れ      『宝島』50 (1978)
26. 森田 ゆり      祈りつつ闘う捕われのインディアン指導者デニス・パンクス  
『朝日ジャーナル』27-15 (1985)
27. 山口 昌夫, 吉田喜重, 対談      「開かれた冥界—1, メキシコ・コーラ族の  
祝祭」      『世界』393 (1978)

このほか日印サルボダヤ交友会の月刊誌「サルボダヤ」には、インディアン関係記事が多く掲載されている。

## Ⅱ. アメリカ・インディアン研究邦語文献（刊行年次順）

	イ．著　　書	ロ．訳　　書	ハ．論文など
1948			岡田　章雄；1-ハ- 7
1949		ベンネット；3-ハ-41	西川　　治；3-ハ-33
1950			木村喜久彌；3-ハ-17
1951			木村喜久彌；3-ハ-18
1953			三崎　敬之；1-ハ-30
1958	石田英一郎；3-イ- 2		伊藤　義兼；4-ハ- 2
1959		レーマン；3-ロ-19	
1961		モルガン；3-ロ-16	
1962	石田英一郎；3-イ-3		北原　順男；3-ハ-19
1963	中屋　健一；1-イ-14 増田　義郎；3-イ-12		
1964	石田英一郎；3-イ- 4		富田　虎男；1-ハ-19
1965			佐々木伝太郎；1-ハ-14
1966		アコスタ；3-ロ- 1	須江ひろ子；3-ハ-26 須江ひろ子；3-ハ-27
1967	本多　勝一；5-イ-12 石田英一郎；3-イ- 5		新保　　満；3-ハ-25 矢田　大雄；3-ハ-47

## イ. 著 書

## ロ. 訳 書

## ハ. 論文など

1967			とくざわりゅうたん ; 4-ハ-13 宮崎 直一; 5-ハ-24
1968	清水 知久; 1-イ- 7	フィドラー; 2-ロ- 4 ミ ラ ー; 1-ロ-12 スティールラン; 3-ロ-10 スティールラン; 3-ロ-11	富田 虎男; 1-ハ-20
1969	増田 義郎; 3-イ-13	ミハルトン; 4-ロ- 9	富田 虎男; 1-ハ-21 岡田 宏明; 3-ハ-10 徳沢 龍潭; 4-ハ-14
1970	本多 勝一; 5-イ-13	ト ム ソ ン; 4-ロ- 6 ク ローバー; 3-ロ- 4	上田伝明; 1-ハ-1, 2 原ひろ子; 3-ハ-36, 37, 38 徳沢 龍潭; 4-ハ-15
1971	新保 満; 3-イ- 9 清水 知久; 1-イ- 8	スーステル; 3-ロ- 8 フォックス; 4-ロ-10 ブッシュネル; 3-ロ-14	上田伝明; 1-ハ-3, 4 岡田 宏明; 3-ハ-11 徳沢 龍潭; 4-ハ-16
1972	青木 晴夫; 4-イ- 1 藤永 茂; 1-イ-15	サンダーズ; 3-ロ- 7 ブ ラ ウ ン; 1-ロ- 9 ク ラ ー ク; 3-ロ- 3	名古 忠行; 1-ハ-26
1973		ナイハルト; 4-ロ- 7	所 勇; 3-ハ-32 菊地 育三; 5-ハ- 8 猿谷 要; 5-ハ-12 杉浦 正章; 5-ハ-14 バン ク ス; 5-ハ-19 ミ ー ン ズ; 5-ハ-20
1974	上田 伝明; 1-イ- 2 加藤 恭子; 1-イ- 4 清水・高橋・富田; 1-イ- 9	ウォーターズ; 3-ロ- 2 オ デ ー ル; 2-ロ- 2 ツェーラム; 3-ロ-13 ハンケ, D. H; 1-ロ-6 ラ デ ィ ン; 3-ロ-17	矢田 大雄; 3-ハ-48

## イ. 著 書

## ロ. 訳 書

## ハ. 論文など

1975	青木やよひ; 5-イ- 1 猿谷 要; 1-イ- 5	ハートレー; 1-ロ- 5 コ ウ; 3-ロ-5, 6	谷岡 孝子; 3-ハ-31 岡田 宏明; 3-ハ-12 黒田 悦子; 3-ハ-20 山口 昌男; 3-ハ-50 宇井 純; 5-ハ- 3 神田 栄次; 5-ハ- 7
1976	北沢 方邦; 5-イ- 7 東大北方研; 5-イ- 9	ウェスト; 2-ロ- 1 タイムライフ; 5-ロ- 3 ママデイ; 2-ロ- 5 ラス・カサス; 1-ロ-14	岡田 泰男; 1-ハ- 8 青柳 清孝; 3-ハ- 1 岡田 宏明; 3-ハ-13 黒田 悦子; 3-ハ-21 豊浦 志朗; 5-ハ-17
1977	金関 寿夫; 2-イ- 1 内藤 誠; 2-イ- 4 豊浦 志朗; 5-イ-10 祖父江孝男; 3-イ-10	ウォッシュバーン; 1-ロ- 1 コスター; 1-ロ- 2 平野 孝; 1-ロ- 8 ホロウェイ; 1-ロ-11 メガーズ; 3-ロ-15 ナイハルト; 4-ロ- 8	富田 虎男; 1-ハ-22 渡辺 昇; 2-ハ- 8 山本 紀夫; 3-ハ-51 上田 伝明; 5-ハ- 4
1978	『宝島』50号特集; 3-ハ-3, 5, 18, 20 5-ハ-25 所収	小沢 俊夫; 4-ロ- 2	小野 修; 1-ハ-10 島川 雅史; 1-ハ-16 松隅 清; 1-ハ-29 金関 寿夫; 2-ハ- 3 岡 千曲; 3-ハ- 8 小林 致宏; 3-ハ-24 祖父江孝男; 3-ハ-29 ハトッフ; 3-ハ-34 久武 哲也; 3-ハ-40 矢田 大雄; 3-ハ-49 山口 昌夫; 5-ハ-27
1979	青木 晴天; 3-イ- 1 上田 伝明; 5-イ- 4 岡田 宏明; 3-イ- 7 原 ひろ子; 3-イ-11	ルイス, 村上; 4-ロ-13 ハンケ, L; 1-ロ- 7	梅田 久枝; 1-ハ- 6 小野 修; 1-ハ-11 久保田泰夫; 1-ハ-12 刈田 元司; 2-ハ- 4



## イ. 著 書

## ロ. 訳 書

## ハ. 論文など

1979	東岡 耐; 5-イ-11		本間 正樹; 3-ハ-43 青木 晴夫; 4-ハ- 1 細井 忠俊; 5-ハ-21
1980	石原 保徳; 1-イ- 1 金関 寿夫; 4-イ- 2	ダン ダ ス; 4-ロ- 4 ラ デ ィ ン; 4-ロ-18 ホ フ シ ン ド; 4-ロ-11	荒 このみ; 2-ハ- 1 稲村 哲也; 3-ハ- 4 煎本 孝; 3-ハ- 6 落合 一泰; 3-ハ-15 宮田 照夫; 3-ハ-46 小西 佑二; 4-ハ- 7 八杉 佳徳; 4-ハ-19 上田 伝明; 5-ハ- 5 中島 時哉; 5-ハ-18
1981	一之宮 久; 5-イ- 2 菊池 東太; 5-イ- 5	ソ リ ー タ; 3-ロ-12	白井 洋子; 1-ハ-17 倉持 三郎; 2-ハ- 5 煎本 孝; 3-ハ- 7 後藤 明; 3-ハ-23 川口 博久; 4-ハ- 6 市雄 貴; 5-ハ- 2 小林 致宏; 5-ハ-10
1982	上田 伝明; 1-イ- 3 猿谷 要; 1-イ- 6 富田 虎男; 1-イ-12	ジ ン; 1-ロ- 3 シ ル コ ウ; 2-ロ- 3	荒 このみ; 2-ハ- 2 青柳 清孝; 3-ハ- 2 猪又 徹; 3-ハ- 5 岡 千曲; 3-ハ- 9 葛西 崇; 3-ハ-16 黒田 悦子; 3-ハ-22 高山 智博; 3-ハ-30 久武 哲也; 3-ハ-40 益子 待也; 3-ハ-44 三井 嘉明; 3-ハ-45 小林 致宏; 4-ハ- 8 富田 虎男; 5-ハ-15
1983	菊池 敬一; 2-イ- 3	ヘ ー ガ ン; 1-ロ-10	竹中 豊; 1-ハ-18

## イ. 著 書

## ロ. 訳 書

## ハ. 論文など

1983	狩野 千秋; 3-イ- 8 宮松 宏至; 5-イ-14	ラス・カサス; 1-ロ-13 イーグル; 4-ロ- 1 ロー ; 5-ロ- 5	富田 虎男; 1-ハ-23 バネ; 3-ハ-35 細井 忠俊; 3-ハ-42 ラグナ; 3-ハ-52 小林 致宏; 4-ハ- <sup>9</sup> <sub>10</sub> 佐藤とよ子; 5-ハ-11
1984	清水 知久; 1-イ-10	カーティス; 5-ロ- 1 ボサス; 5-ロ- 4	沢田 俊明; 1-ハ-15 富田 虎男; 1-ハ-24 藤本 博; 1-ハ-28 野田 研一; 2-ハ- 7 スチュアート, H; 3-ハ-28 小林 致広; 4-ハ-11 北沢 方邦; 5-ハ- 9
1985	松島駿二郎; 1-イ-16	ヌジエ; 1-ロ- 4 レナン=ボル ティヤ; 3-ロ-18 ジョラン; 5-ロ- 2	折原 卓美; 1-ハ- 9 小山 起功; 1-ハ-13 富田 虎男; 1-ハ-25 荒竹 清光; 3-ハ- 3 小林 致広; 4-ハ-12 松久 玲子; 4-ハ-17 町田 成男; 5-ハ-22 森田 ゆり; 5-ハ-26
1986	清水 知久; 1-イ-11 刈田 元司; 2-イ- 2 一之宮 久; 5-イ- 3 小林 致広; 5-イ- 8	コラール; 4-ロ- 3 トムキンス; 4-ロ- 5	上田 伝明; 1-ハ- 5 西出 敬一; 1-ハ-27 滝野 哲郎; 2-ハ- 6 阿波 弓夫; 5-ハ- 1 新開 禎子; 5-ハ-13
1987	鶴谷 壽; 1-イ-13 菊池 東太; 5-イ- 6	スチュアート; 3-ロ- 9	町田 成男; 5-ハ-23